



横浜市立富岡小学校 学校だより

10月号



「暑さ寒さは、彼岸まで」という言葉にある通り、朝夕の風は少しずつ秋の装いを感じる今日この頃です。10月は学期の節目にあたります。前期を振り返るとともに、次の学年につながる後期にしたいと考えています。

「地域とともに歩む学校づくり」を目指して

9月6日 3年生は、花壇隊の方のご指導により種をポットに蒔きました。「芽が出るまで半日陰で土が乾かないようにしましょう」とご指導を受け、水をかけた後、新聞紙で覆いました。子どもたちと花壇隊の方々がそれぞれ苗にそだてて11月2日(木)に花壇に植え替えることになっています。苗を買って植えることは簡単ですが、種から芽を出させて育てることは簡単ではありません。植物は気象の



<6日早く芽が出ないかな?> 影響を受けるため根気よく日射、気温、土の湿り具合等を見なければなりません。子どもたちは、この活動を通して**相手のことを思いながら過ごすことの大切さ**や先生、友達、家族以外の人から教えを受け**新たな学びの場**を得てきました。地域の方々は、**子どもたちと一緒に活動できる喜び、グループの子どもたちの喜ぶ姿を思い浮かべながら活動の準備**をするようになった、という声が聞かれました。子どもたちにとっても地域の

<15日芽が出ました!> 方々にとっても**活動の日だけでなく次の出会いの日までのプロセス**にいてもお互いを思う気持ちがわいてきているようです。最近、マイコン制御で植物も育てられる時代ですが、会話を楽しみながらゆっくりと活動することにもこのような意味があると思います。

4月に「地方教育行政の組織と運営に関する法律」の改正がありました。**学校運営協議会の設置が努力義務**になり、「地域学校支援」から**「地域学校協働活動」**という新たな言葉にかわりました。本校でも地域コーディネーターをしていただく方に研修にでていただいています。改正では、これまで以上に学校・家庭・地域が子どもの教育について「一緒に知恵を出し合う」「それぞれの役割、できることを果たす」ということが説かれています。

本校では、協議会ができる前より地域の方々が花壇整備、栽培活動で子どもたちとともに活動をしてきました。その後も協議会の**「学校教育サポーター」**として協働活動が引き継がれています。**授業や学校生活場面で子どもの傍らに寄り添い**、教師の言葉をわかりやすく伝えたり、水泳指導の見守り役としてお手伝いいただいたり、学区探検の見守り活動をしていただいたり活躍の場が広がってきています。「協議会」の種が芽となった1年でした。富岡の地にしっかりと根の張った大きな樹木となりますよう今後ともよろしく願いいたします。

(校長 菅沼伸一)

□第3校舎壁面等改修工事…サッシ交換は終了しました。壁面塗装は、8月の雨の影響で工事終了が遅れ、10月中旬になります。ご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。